

第1回住田町下水道事業運営審議会 議事録

【開催日、場所】令和4年8月4日（木） 住田町役場 町民ホール

【出席者】三尾委員、金野委員、林崎委員、阿部委員、千葉委員、紺野委員、事務局4名

○委嘱状交付、委員紹介

（事務局）下水道事業運営審議会委員の皆様へ委嘱状の交付を行います。時間の都合上、代表受領とさせていただきます。審議会委員を代表しまして、金野晃治様お願いいたします。

～町長より金野委員へ委嘱状を交付、事務局より各委員を紹介～

○協議

① 下水道事業運営審議会会長の選出

（事務局）審議会会長の選出は、住田町下水道事業運営審議会条例第4条第1項により、審議会に会長を置き、委員の互選とするとされております。

会長の決定はどのようにしたらよろしいかお伺いをいたします。

（委員）事務局一任。

（事務局）事務局に一任という声がありましたが、よろしいでしょうか？

それでは、会長に阿部祐一委員をお願いいたします。

（委員）～了承～

（事務局）それでは、これ以降は会長より審議会の進行をお願いします。

② 審議会への諮問事項及び今後のスケジュール

（阿部会長）協議事項に移ります。審議会の諮問事項および今後のスケジュールについてです。事務局より説明をお願いいたします。

（事務局）～資料1により説明～

（阿部会長）事務局から説明がございましたが、委員の皆様のご質問、ご意見等がございましたらお願いします。

（委員）大体ご説明は伺いましたが、最終的には下水道使用料の改正、要するに値上げとなるという考え方でいいのか。

（事務局）下水道使用料の値上げを前提ではなく、経営状況をご確認いただき、値上げか据え置きか、また改定する時期の検討など広く協議をいただければと思います。

（委員）公営企業は独立採算制で運営することは理解している、今後維持管理費も増えることもあると思うが、それに備えての使用料を徴収しながら、事業経営の中で対応する党委考え方でいいですか。

（事務局）現実的には、一般会計から繰入金があり運営しているところであります。企業会計に移行したことで、資産の今後の状況等も明らかになってまいりました。長期的な見通しから、安定的な経営ができるよう使用料の方針を検討していただきたい。

（委員）一般会計からの繰入金は将来的に減ってくるのでは。

（事務局）一般会計からの繰入金については、基準変更し減少するという情報はないが、基準変更により金額が上下する可能性はあります。

（委員）下水道区域内の方で未接続の方もいると思うが、未加入率を知りたいです。未加入件数も、教えて欲しい。

- (事務局) 区域内で未加入の方は、77世帯168人です。
接続率は、令和3年度は90.41%です。
- (委員) 未加入者は加入すると、水洗化に伴う工事費用が生じるが、加入者増のため支援は考えていないでしょうか？
- (事務局) 現行制度ではない状況ですが、補助はまた、補助により加入率が上がるかを含めて、検討する必要はあると思います。
- (委員) 事業当初に未加入の理由は色々あると思うが、費用が大きいことが要因としてある。77世帯が区域内で未加入であるならば、考えていかなければいけない。普及率を上げていく努力をすべきではないのか。
- (事務局) 料金の議論の前には、普及率を上げることも議論が必要だと思います。各ご家庭の事情もありますが、普及率を上げる取り組みは進めていく必要がある。
- (阿部会長) その他にございませんか。よろしいでしょうか？
次に、住田町下水道事業の経営状況について事務局より説明をお願いいたします。

(事務局) ～資料2により説明～

- (阿部会長) 今の説明について委員の皆さん一人一人から伺いたいと思います。
- (委員) この説明を聞いても正直分からない。
- (委員) 有収水量と料金収入の推移は、令和3年度に処理水量が大きく減っているが、コロナの関係で水道使用量が減ったことが原因か。
汚水処理原価は、何に対して177円となっているか。
- (事務局) 水道使用量により下水道使用量も変わりますが、原因について分析できていません。
汚水処理原価は1㎡当たりの金額となります。
- (委員) 正直申し上げて、ちょっとわかりません。企業会計原則と公営企業会計では、全然違う。事前に一度は数値を読み込んだが、項目が違うので、正直なところ全然理解できていません。この後精査していきたい。
- (委員) 使用人口は変わっていないが、使用料収入が上がっているのは(過去の)値上げの影響あると見える。しかし、使用水量が減っているところで、単純に使用者を増やせば、楽にできると感じてしまう。下水道区域だけでも人が増えれば、維持できるのでは、いかがでしょうか？
- (事務局) 使用人口を維持していくところが必要にもなります。使用人口が変わっていないのに水量が大きく変わる部分の理由を持ち合わせておりません。今後分析は必要だと思います。
- (委員) アパート建築や新しい設備が増えていることも要因としてあると思う。
接続可能な距離の土地が多く余っているので、住宅建築と連携すれば値上げせずにできると感じました。
- (阿部会長) それでは私の方から、1億円の繰入金是一般会計に依存する部分が多いが、町の財政がどこまで負担できるかということもあります。今後料金改定を検討することとなるが、結論はすぐには出なくても、維持は難しくなると感じました。
- (委員) 料金収入のグラフは、かなり減っているように見えるが、3%しか減っていない。
また、営業収益が3,105万円で、営業費用1億3,478万円の赤字はあり得ない。
営業外収入は、町が出していることか。
- (事務局) 営業外収益の中身は、一般会計の繰入金と、補助金を活用した建物の資産償却の内補助金対応分の収益が大部分を占めています。
- (阿部会長) 全体を通してもう一度ご意見がありましたらお伺いいたします。よろしいでしょうか？それでは本日の協議は終了となります。ありがとうございました。
- (事務局) ご協議大変ありがとうございました。次回はわかりやすい説明を心がけていきたいと思っております。以上をもちまして第1回の下水道事業運営審議会を終了させていただきます。大変ありがとうございました。